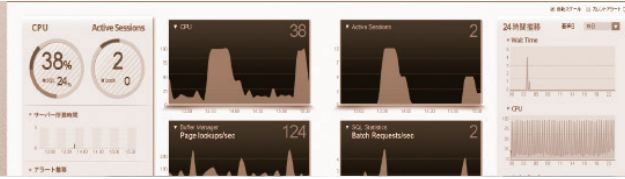


ユーザーフレンドリーな『SQL Server』をさらに円滑に運用するためのソリューション

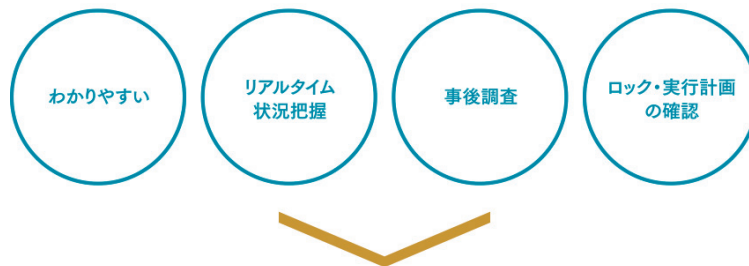
MaxGauge for SQL Server



製品概要

SQL Serverは非常に分かりやすく、ユーザーフレンドリーなデータベースです。しかし、問題の発生や調査を行いたい場面は必ず出てきます。その際分かりやすく作られている故に、調べる手段がない場合も多数あります。『MaxGauge for SQL Server』は、その状況を打破し、わかりやすく、簡単に状況把握・確認ができます。

特徴



データベースの運用調査を『簡単』に、かつ『スピーディー』に実行

| 情報取得間隔 | OS指標・性能指標・待機指標 1分間隔 | セッションの稼働情報 5秒間隔 | 実行SQLテキスト 5秒間隔 |
|-------------------|---|--------------------|-------------------|
| 自動で 集計・グラフ化 | 自動で集計したデータを全てグラフ化。視覚化することで突発的な状況変化も一目で把握 | | |
| ボトルネック ポイントを指摘 | 待機指標を集計・ソートすることにより、ボトルネックとなっている箇所を可視化。該当セッション、SQLも抽出。 | | |
| 個別セッション の状況も閲覧 | セッションごとのメモリ獲得量、ディスクアクセス量も集計・閲覧でき、効率の悪いアプリケーションが即座に判明。 | | |

機能

ダッシュボード 複数のデータベースの稼働状況を一目で確認

業務によってそれぞれ異なるデータベースの稼働状況を、一画面で素早く確認できます。さらにアラート発生の履歴で分かりやすく状況を確認、さらに細かく確認することも可能です。

リアルタイム分析機能 データベースの現在の状況をリアルタイムで確認

リアルタイムで稼働状況を確認できるので、問題点を素早く発見することが可能です。

また、その他さまざまなステータスの確認も行えます。

事後分析機能 『データベースの稼働状況を事後で、スムーズに確認

障害やパフォーマンス低下の原因を追及するため、その時点でのシステム全体の状態把握から、その状態を引き起こしていた「個々」のセッション情報へ、シームレスに分析できます。



- インスタンス状況把握
- アラート状況確認
- 実行SQL、実行計画、トラッキング
- アラート明細確認



- リアルタイム稼働状況画面
- 主要指標のグラフ表示
- サーバー所要時間
- アラート推移
- セッション所要時間チャート
- 24時間推移
- アクティブセッションリスト
- トップダウン分析
- 実行計画確認
- SQL実行ツール(SQLMini)
- その他の機能



- 主要指標のグラフ表示
- サーバー所要時間
- セッション所要時間チャート
- ロック状況
- アクティブセッションリスト
- トップダウン分析
- 実行計画確認
- SQL実行ツール(SQLMini)
- アラート履歴
- その他の機能

販売価格

個別見積

商品番号 1001949 MaxGauge for SQL Server